

(別紙4(2))

事業所名 つくしんぼの グループホーム

作成日: 令和元年6月3日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	運営に関する職員意見の反映	毎月、職員会議を開催し、職員が意見や要望が出しやすい雰囲気を作り、活発な意見交換会になるように努める。管理者は職員と面談を行い、職員の要望や意見を聞き取り、運営に反映していく。	職員不足と勤務体制の関係で、職員会議が行われていないので、勤務時間中に職員会議ができるように計画する。職員会議を定期的で開催し、職員の意見、要望、心配事などを話し合い、職員が生き活きと働ける職場環境を整えていく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	若手職員を募集し、グループホームの活性化を図り、職員の知識や介護技術の向上に取り組み、職員の意欲を高め、意識の高揚を目指していく。	職員の勤務体制や充足率が高まれば、外部の研修に交代で参加してもらい、職員の介護技術の向上と意識の高揚に取り組んでいく。また備品の配置を検討するなど、働きやすい、職場環境の整備に取り組んでいく。	24ヶ月
3	37	災害対策	避難訓練を年2回実施しているが、夜勤者全員が夜間1人で、9名の利用者を短時間で素早く救出することの難しさを実感して、避難訓練を繰り返し行い、夜勤者の自信に繋げていく。	利用者を巻き込まず、夜勤者を中心に職員同士でタイムを計って避難訓練を行い、何度も訓練して、時間の短縮に取り組み、夜勤者が自信を持って夜勤出来る体制を整えていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。